

シート入力をしていただく際の注意点

- セルにプルダウンリストがある場合はその中から選択してください。
- プルダウンリストが無い場合は自由表記です。
- セル内に記載事項が収まらない場合でも、そのままご記入ください。
(書式等の変更はしないで下さい)
- 回答項目に該当がない場合は、必ず「0」を記入してください。
- 「5.病床機能毎の病床数」については、医事課や管理部門等へご確認いただき、秋田県医務薬事課へ定期報告している「病床機能報告」を基に2019年9月現在の状況を記載してください。
- 院内血とは院内採血血液のことです。
血液センターから供給される【人全血液-LR「日赤」】(血漿が分離されていない全血)はここ数年供給がありません。
- 院内血は緊急時などに行われる院内採血で、自己血ではありません。
- 血液製剤管理記録の保管は、記録が発生してから何年間保管予定かを記載してください。(保管開始からの年数ではありません)
- 輸血患者数は年間に輸血が実施された患者数(例:BTD等集計システムの患者IDの数)を指します。
- 輸血件数は輸血が実施された回数(例:BTD等集計システムのオーダーIDの数)を指します。
(例)1日に手術室で1回、病棟で1回の輸血が行われた場合 : 2件
(例)外来輸血で、赤血球製剤と血小板製剤を同一日に輸血した場合 : 2件
(例)1枚の輸血依頼伝票等に2日分記載され輸血した場合 : 2件
- 今回から新たに血漿交換に使用した、FFP(新鮮凍結血漿)及び人血清アルブミン製剤も集計していただきます。ご協力をお願い致します。
- 今回から新たに静注人免疫グロブリン、皮下注人免疫グロブリン製剤も集計していただきます(抗D グロブリン、抗HBs 人免疫グロブリン、破傷風グロブリン等は含みません)。薬剤部門のご協力をお願い致します。
- 保存する際、ファイル名の冒頭に施設名を入力してください。
- 調査対象範囲が前年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)となっています。ご注意ください。